

2025年度 第2回東京都公立大学法人経営審議会議事要録

日時 2025年5月23日(金) 10時00分～11時55分

場所 ビジョンセンター西新宿 302室

出席者 中山 泰男 理事長
大橋 隆哉 副理事長(東京都立大学学長)
橋本 洋志 副理事長(東京都立産業技術大学院大学学長)
野間 達也 副理事長(事務局長)
吉澤 昌純 理事(東京都立産業技術高等専門学校校長)
津村 博文 理事(東京都立大学副学長)
山下 英明 理事(東京都立大学学長特任補佐)
ウスビ サコ 理事(国際担当)
今市 涼子 学外委員
桜井 伝治 学外委員
渡邊 光一郎 学外委員
鵜瀬 恵子 監事
岡村 俊克 監事
高見 之雄 弁護士
浜 佳葉子 法人運営アドバイザー

1 開会

2 確認事項

- (1) 2025年度第1回議事要録の確認について
議事要録(案)が提示され了承された。

3 報告事項

- (1) 2024年度 オープンユニバーシティ講座実施状況について(東京都立大学)

生涯学習推進課長から報告があった。

他大学との差別化や海外に向けた広報を行う重要性、目標値の考え方、公立大学として受講者ニーズに対応した講座を提供する意義などについて意見交換があった。

公立大学として受講者ニーズに対応した講座を提供する意義に関する主な意見は以下のとおり。

- ・都立大の研究力や魅力を広く発信する講座だけでなく、一般的な語学講座なども提供しているが、提供する講座の内容については、今後検討する必要があると考えられる
- ・受講者の中で比率が高い高齢者は、QOLを求めて講座を取っていると考えられる。リソースとの兼ね合いもあるが、特にそのような都民のニーズに対応していくことも都立大学の一つの役割であると考えられる

(2) 2024年度 公開講座実施状況について（東京都立産業技術大学院大学）

東京都立産業技術大学院大学管理部長から報告があった。

より広く受講者に視聴していただくためのアーカイブ配信の実施などについて意見交換があった。

(3) 2024年度 オープンカレッジ事業報告について（東京都立産業技術高等専門学校）

東京都立産業技術高等専門学校管理部長から報告があった。

参加者数が少ない講座に係る集客努力の必要性や、女子向けのサイエンス講座実施の意義、中小企業の中核人材育成に資する講座の意義などについて意見交換があった。

(4) 令和6年度 中期計画進捗状況報告（原案）について

経営企画課長から報告があった。

社会の変化を踏まえ柔軟に中期計画を実施し、進捗状況を関係者へ情報共有する重要性、進捗状況報告における指標の意義、都立大学における留学生確保策や、経営審議会における議論を二大学一高専の取組へ反映する必要性などについて意見交換があった。

都立大学における留学生確保策に関する主な意見は以下のとおり。

- ・都立大学において、海外に行かなくても留学と同じ経験ができる環境を創り出すことは、昨今の国際情勢を踏まえると国内のみならず、アジアや中東などの海外からの進学者を呼び込む誘因、魅力向上にもなる
- ・海外の多くの国はいわゆる秋入学であるため、留学生を増やしていく過程で、入学までのギャップをどのように埋めるのかを検討すべき
- ・東京を国際都市にするというのは都の施策でもあるため、都と連携して、留学生を受け入れる際に重要な要素である寮の手当をしていただきたい
- ・他大学も国際化を進める中で、「都立大学ならではの」を明確にし、プロモーション活動について相当力を入れていかなければならない

(5) 東京都立大学学長選考会議委員の欠員に伴う選出について

理事長から、前回の経営審議会において理事長に一任された経営審議会構成員からの委員2名について、桜井伝治学外委員、ウスビサコ理事を選出したことが報告された

(6) 東京都立産業技術大学院大学学長選考会議委員の選出について

理事長から、前回の経営審議会において理事長に一任された経営審議会構成員からの委員3名について、桜井伝治学外委員、野間達也副理事長、吉澤昌純理事を選出したことが報告された。

4 その他

(1) 東京都立産業技術大学院大学管理部長から運営諮問会議について説明があり、産業界の意見を取り入れるこ

との意義などについて意見交換があった。

- (2) 連携担当課長から SusHi Tech Tokyo 2025 への出展について報告があった。
- (3) 財務担当課長から「2050 東京戦略～もっとよくなる～」について説明があった。

5 閉会